



大阪市立 東小路小学校



校長名 荒木 浩司
所在地 〒544-0003 大阪市生野区小路東3-8-15
電話 06-6751-4465 FAX 06-6751-9397
URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671490>



主な学校行事

4月	入学式 1学期始業式 家庭訪問
5月	春の遠足 学習参観・懇談会 避難訓練(火災)
6月	避難訓練(地震・津波) 防災学習 プール開き 東小路ドリームランド
7月	期末懇談会 1学期終業式 5年林間学習
8月	2学期始業式
9月	学習参観・懇談会
10月	運動会 たてわり全校遠足 6年修学旅行 就学時健康診断
11月	作品展(土曜授業) 避難訓練(台風)
12月	期末懇談会 2学期終業式
1月	3学期始業式 入学説明会
2月	6年卒業遠足 学習参観・懇談会
3月	6年茶話会 卒業生を祝う会 卒業式 修了式

教育目標

みんなが安心できる居場所のある学校
～ちがいを認め合い、ともに学び支え合える集団をめざして～

令和4年度全国学力・学習状況調査

● 平均正答率(%)

国語	算数	理科
58	57	55

● 結果概要

教科に関する調査において、国語科は、全国平均を7.6ポイント下回っており無回答率も高く、内容項目のうち、「話すこと・聞くこと」の領域において正答率が全国平均14.1ポイント下回った。算数科は、全国平均を6.2ポイント下回っているが無回答率は1.4ポイント少なく、問題を粘り強く解こうとしていると言える。「図形」と「データの活用」の領域に特に課題が見られた。

理科は、全国平均を8.3ポイント下回っており、その中でも「粒子」を柱とする領域に課題が見られた。

児童質問紙調査において、「朝食を毎日食べている」と回答した割合が64%で、「平日にスマートフォン等でSNSや動画視聴の時間が2時間以上」と回答した割合が54%あった。また、「自分には、よいところがあると思いますか」に「はい」と回答した割合が22%にとどまった。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

国語科については、令和3年度まで研究教科に取り上げ、読み取る力を深めるための指導法を工夫してきた。その成果として、「我が国の言語文化に関する事項」や「書くこと」の内容は、大阪市平均に近い

重点目標

学校・家庭・地域が三者一体となって自己肯定感を持つ子どもを育てる教育活動を推進する。

標準服

無

校訓

正しい子 明るい子 強い子

めざす子ども像

自分も人も大切にする子
自分でしっかり考えて行動する子
自分の思いや考えをすすんで表現したり、発表したりする子
失敗してもくじけず、何度でも挑戦する子

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

● 種目別平均値

性別	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	合計得点
男子	18.79	12.74	34.21	34.89	34.32	10.14	145.58	19.11	46.89
女子	19.00	14.84	41.60	36.44	30.24	9.70	144.84	13.88	53.28

● 結果の概要

男子は、長座体前屈以外の体力合計点を含めた全項目が大阪市平均を下回った。女子では上体起こし、20mシャトルラン以外の体力合計点を含めた全項目が大阪市平均を上回った。男子、女子ともに上体起こしと20mシャトルランが大阪市平均を下回る結果となり、柔軟性と持久力に課題があることがわかった。

また「運動やスポーツをすることが好きですか」の回答では、男子、女子ともに肯定的回答が70%を超えている。また、1週間の総運動時間が、男子は60分未満の児童はいないが、女子は60分未満の児童が少し見られる。このことから、男女による差異は見られるが、全体的には体を動かすことが好きな児童が多いと言える。

正答率であった。しかし、問題文をしっかり読み、内容を正確に読み取る力を養う必要がある。算数科について、令和4年度より研究教科として、基礎・基本の定着をめざして取り組んでいる。朝学習を活用して計算のスキルを高めた結果、「数と計算」「変化と関係」領域の正答率は一定の水準に達している。しかし、「図形」領域の理解度に課題があるため、今後重点的に取り組む必要がある。理科については、「生命」を柱とする領域については題材が身近なものであることから理解度がほぼ大阪市平均であった。しかし、他の領域については学習があまり定着できていない現状である。資料映像だけでなく、さらに実験・観察の機会を増やし、ICT機器の活用を推進することで、児童一人ひとりの興味関心を引き出せるようになっていく必要がある。

国語科では、児童一人一人に電子図書を開覧できるようにし、読書量を高めたり、日本漢字検定を受検したりして、言語力や読解力を向上させていく。

算数科においては、「一人一台学習者用端末(タブレット)」を日常的に活用して視覚的な支援をするなど「個に応じた指導」の充実を図り、「自分で考え、自分から表現する力」の育成に向けて、実践を積み重ねる。

理科においても、「一人一台学習者用端末(タブレット)」で実験や観察結果の動画を視聴するなど視覚的な支援を有効活用しながら、一人ひとりが仮説を立てたことを実験などで実証する活動を積極的にを行い、自然現象や化学現象に対して、さらに興味・関心を引き出す工夫を行う。また、教科の学習のみならず、学校生活全般を通して、児童が安心して居場所のある学校をめざした取り組みを進める。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

本校では、体育行事として3学期に「なわとび週間」を15分休みを週2回を2週間にわたってほぼ予定通り実施することができ、十分な運動量を確保することができた。さらに強調週間後も、自主的に取り組む児童が多く見られた。

継続的な活動を行うことでより結果の向上が望めるので、用具の充実を含め子どもたちが運動にたくさん親しめる活動の場を広げていきたい。

校長先生のメッセージ

東小路小学校では、みんなが安心できる居場所のある学校にするために、互いのちがいを認め合い、ともに学び支え合える集団をめざして、チーム東小路として教職員・児童・PTA・地域が一体となって日々の教育活動が充実したものになるよう取り組んでいます。

運営に関する計画

● 計画のエッセンス

教職員がゆとりをもって子どもたちと向き合えるようにし、確かな学力をつけることで自尊心を高め、一人ひとりの個性が輝きを増すように互いの人権を尊重し、決していじめを許さず、地域に根差した安心で安全な学校づくりをめざします。

● 中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

- ・令和5年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思えますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。
- ・令和5年度末の児童アンケートにおいて「自分には、よいところがあると思う」の子どもへの肯定的に回答する割合を80%以上にする。
- ・令和5年度末の児童アンケートにおいて「自分も人も大切にしている」の子どもへの肯定的に回答する割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和5年度末の児童アンケートにおいて「自分の思いや考えをすすんで表現したり発表したりする」の子どもへの肯定的な回答の割合を

81%以上にする。

- ・令和5年度末の児童アンケートにおいて「失敗してもくじけず、何度でも挑戦している」の子どもへの肯定的に回答する割合を80%以上にする。
- ・令和5年度末の児童アンケートで「早寝・早起きをして規則正しい生活をしている」の子どもへの肯定的な回答の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・児童が、一人一台学習者用端末の「心の天気」を毎日入力したり、学習の中で日常的に活用したりするとともに、双方向性通信にも取り組む。
- ・教員の勤務時間の上限に関する基準1（月間45時間未満）を満たす教職員の割合を60%以上にする。
- ・令和5年度末の校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を75%以上にする。
- ・令和5年度末の保護者アンケートにおいて「学校は、学校日よりや学年日より、学校ホームページ等で学校や子どもの様子をよくわかるようにしている」の肯定的な回答の割合を93%以上にする。

「特色ある学習活動」 および 「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動

■ 「わかる」「できる」「楽しい」算数科の基礎・基本の定着をめざして研究しています

令和4年度より算数科を研究教科として取り組んでいます。研究の視点を次の3点に置き、授業研究会を通して、研究主題を究明していきます。

- 【視点1】基礎・基本のさらなる定着をめざし、火・金曜日の朝学習で計算タイムを設定する。
- 【視点2】表現力を育成するため、学び合いの場を授業の中で設定する。
- 【視点3】デジタル教科書や一人一台学習者用端末を効果的に活用し、学習の理解を図る。



■ 異学年交流でみんななかよし!!

異学年交流としてたてわり班活動を行っています。各班を1年生～6年生の児童で編成し、毎週木曜日の児童集会をたてわり班で活動します。「東小路ドリームランド」では、子どもたちが作ったお店を回って遊びます。秋の全校遠足は、全校で「たてわり遠足」として実施しています。また、今年度は、全学年の絆を深めるために「東小路なかまの木」を作り、みんなの目につく場所に飾っています。



家庭・地域等との連携

■ みんなで作る作品展

毎回、どの学年の絵画も立体作品も力作ぞろいの作品を展示しています。

土曜日に開催し、子どもたち相互の鑑賞はもちろん、ご家族や地域の方々にも広く鑑賞していただいています。



■ PTAと地域の方で子どもたちを育む

毎年恒例で4・5年生対象に「地域のみなさんとふれあい授業」でグランドゴルフを行っています。こうした活動を通して地域のみなさんに子どもたちのことを知っていただくことで、子どもたちの地域での安心と安全につながっています。



■ 防災学習に取り組んでいます

地震・津波を想定した避難訓練とともに、区役所と消防署と連携して防災学習を行っています。煙の中でどのように対応すれば身を守るのか、火災の際に消火器の取り扱い方や心肺蘇生法にも挑戦しています。防災学習後は、保護者の方への児童引き渡し訓練を実施し、万が一の災害に備えています。

